monban
ワイヤレスチャイム

取扱説明書
[受信機・送信機共通]

目次

安全上のご注意　必ずお守りください。

製品および取扱説明書には、重要な内容の記載があります。それは、お使いになる方や他の人への危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくためです。次の内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みいただき、記載事項を必ずお守りください。

□図記号の説明

警告「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

注意「損害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

□表示の説明

は、してはいけない「禁止」内容です。

は、必ず実行していただく内容です。

警告

濡れ手禁止：AC100V電源を使用する製品の電源プラグは濡れた手で抜き差ししない。(感電のおそれがあります。)

禁止：風呂場など、水気の多い場所で使用しない。(火災・感電・故障の原因になります。)

分解禁止：絶対に分解、改造、修理は行なわない。(故障・発火・感電・けがの原因になります。)

守る：AC電源を使用する製品は必ず、交流100Vで使用する。(過電圧を加えると火災・感電のおそれになります。)

禁止：製品を水につけたり、かけたりしない。(ショート・火災・感電の原因になります。)

禁止：不安定な場所で使用しない。(落下してけがや破損の原因になります。)

注意

守る：電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む。(差し込みが不完全の場合、発熱による火災・感電のおそれがあります。)

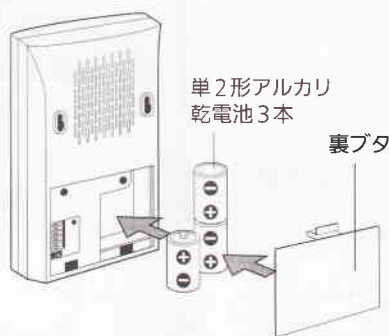
禁止：熱器具や火気のそばで使用しない。(製品本体が変形し、火災、感電、故障の原因になります。)

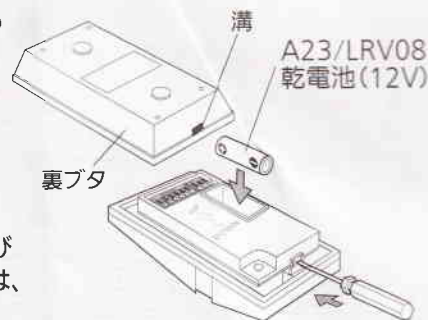
守る：AC電源を使用する製品は、電源プラグを定期的に点検を行い、乾いた布等でホコリなどを取り除いてください。

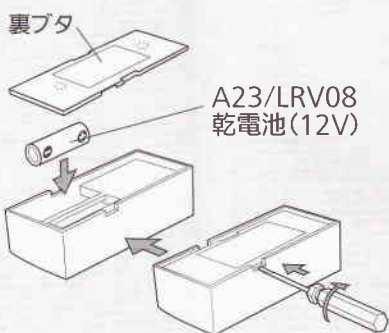
1.電池の入れ方

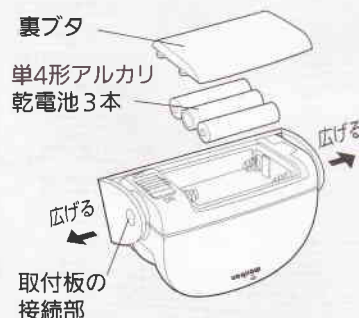
※呼び出し音が小さくなったり、動作が不安定になってきたら早めの電池交換をお勧めします。

電池式受信機

●図のように受信機底部にある裏ブタを開け、単2形アルカリ乾電池3本(別売り)を電池の向き(+・−)に注意して正しくセットし、挿入してください。

押しボタン送信機

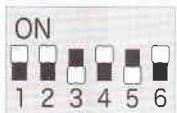
●送信機の「溝」に小型のマイナスドライバー等を差し込み押すようにしてこじ開け、裏ブタを外します。
●図のように電池を入れます。
●ボタンを押しても「呼び出し音」が鳴らないときは、新しい電池に交換してください。

扉センサー送信機

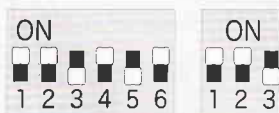
●送信部本体側面にある溝に、マイナスドライバー等を差し込み、こじって、裏ブタをはずします。
●向きに注意して電池を入れます。
(A23/LRV08乾電池)
●裏ブタを元のようにはめます。

赤外線センサー送信機

●取付板の接続部を広げて本体をはずします。
●裏ブタをはずします。
●向きに注意して電池を入れます。
(単4形アルカリ乾電池3本)
●裏ブタをはめて取付板にセットします。

AC電源式受信機 家庭のAC電源コンセントに差込んでください。電池は必要ありません。

手回し送信機 ダイヤル式発電機構にて手回し発電するので電池は必要ありません。

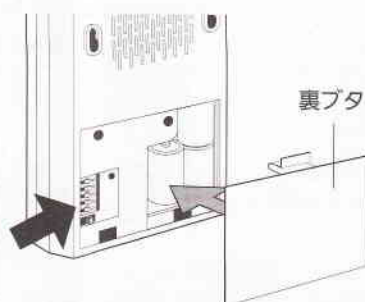
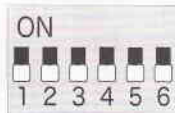
2. 送信機・受信機のチャンネルの設定

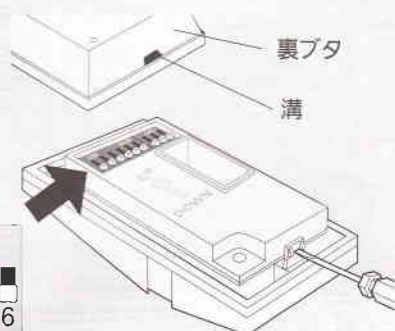
●送信機・受信機それぞれの「チャンネル設定スイッチ」を設定します。精密ドライバー等の先の細いものでスイッチをスライドしてください。※電池を入れてから、約3分間のウォームアップ時間が必要です。
●「チャンネル設定スイッチ」は6個のスイッチそれぞれのON/OFF組み合わせを変えることにより、64通りのチャンネル（組み合わせ）が設定できます。
●チャンネルが同じ送受信機同士で動作します。下の図のように、受信機と送信機のそれぞれの1～6のスイッチをすべて同じ位置にしてください。1か所でも違うと動作しません。
●複数組で使用する場合や、ご近所と混信する場合は、違うチャンネル（組み合わせ）に設定してください。全部で64通りのチャンネル（組み合わせ）が使用できます。

（スイッチ位置は一例です）

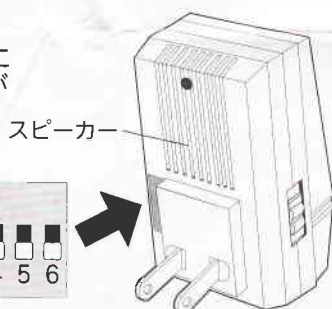
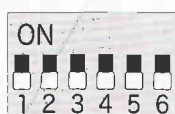
送信機側

「チャンネル設定スイッチ」

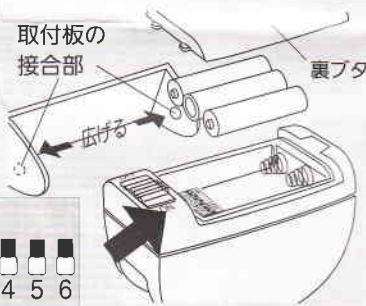
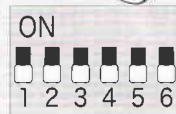
「チャンネル設定スイッチ」「呼び出し音設定スイッチ」

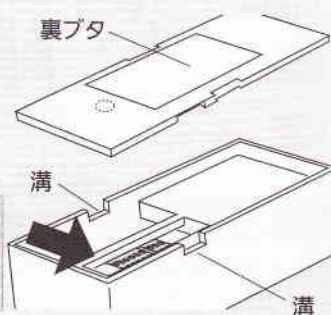
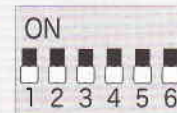
電池式受信機

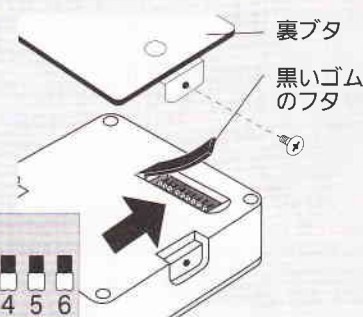
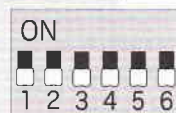
●図のように受信機底部にある裏ブタを開けるとチャンネル設定スイッチがあります。

押しボタン送信機

●送信機の「溝」に小型のマイナスドライバー等を押すようにしてこじ開け、裏ブタを外すとチャンネル設定スイッチがあります。

AC電源式受信機

●背面のスピーカーの下にチャンネル設定スイッチがあります。

赤外線センサー送信機

●取付板の接合部を広げて本体をはずします。
●裏ブタと電池をはずすと奥にチャンネル設定スイッチがあります。

扉センサー送信機

●送信部本体側面にある溝に、マイナスドライバー等を差し込み、こじって、裏ブタをはずすと、チャンネル設定スイッチがあります。

手回し送信機

●背面にあるネジをプラスドライバー等で開け、裏ブタをはずします。
●黒いゴムのフタをあけるとチャンネル設定スイッチがあります。

3.呼び出し音の設定（送信機側のみ）受信機側では呼び出し音の設定はできません。

●「呼び出し音設定スイッチ」は送信機中の「チャンネル設定スイッチ」横にある3つのスイッチです。

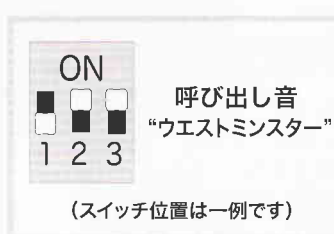
●「呼び出し音設定スイッチ」は3つのスイッチそれぞれの ON/OFF 組み合わせを変えることにより、8 種類の呼び出し音が設定できます。呼び出し音は、「呼び出し音一覧表」を参照してください。

●複数の送信機をご使用の場合は、それぞれを違う音に設定することにより、どこの送信機が動作したか分かります。

ON

1 2 3

呼び出し音
“ウエストミンスター”

（スイッチ位置は一例です）

呼び出し音一覧表

スイッチの位置	呼び出し音
ON ▄ ▄ ▄	ピンポン(連続2回)
ON ▀ ▄ ▄	ウエストミンスター
ON ▄ ▀ ▄	ドアのノック音
ON ▀ ▀ ▄	ベートーベン 交響曲第九番
ON ▄ ▄ ▀	エリーゼのために
ON ▀ ▄ ▀	渚のアデリーヌ
ON ▄ ▀ ▀	愛しのクリスティーヌ
ON ▀ ▀ ▀	ハンガリアンダンス

4. 受信機の音量設定方法

電池式受信機

AC電源式受信機

●音量設定スイッチは“大”と“小”の2種の音量が選べます。

●電池式受信機の音量設定スイッチは「チャンネル設定スイッチ」の下にあります。（左：LOW　右：HIGH）

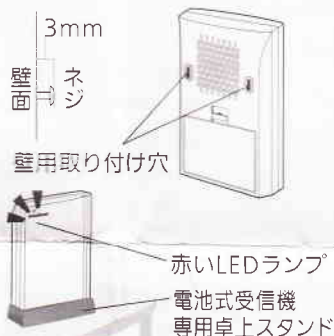
●AC電源式受信機の音量設定スイッチは左の図を参照ください。
（上：小　下：大）

※呼び出し音の種類は、「3.呼び出し音の設定」をご参照ください。

5. 設置方法

※設置前に、「2.送信機・受信機のチャンネルの設定」と「3.呼び出し音の設定」を必ずお読みください。

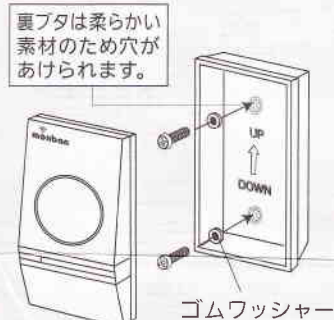
電池式受信機

［壁に掛ける場合］
●取り付けたい位置に、付属の取付用ネジを壁面より3mmほど出るようにねじ込み、その上から受信機を取り付け穴に引っ掛けてください。

［テーブル等の上に置く場合］
●別売りの電池式受信機専用卓上スタンドに置いてください。
※送信機からの電波を受信すると赤いLEDランプが点滅します。

押しボタン送信機

［壁に取り付ける場合］
●本体の背面の電池ブタを外し、両面テープを貼り壁につけます。●ゴムワッシャーとネジで壁に固定します。●本体を裏ブタに取り付けます。
［置いて使用する場合］
●そのままで使えます。

AC電源式受信機

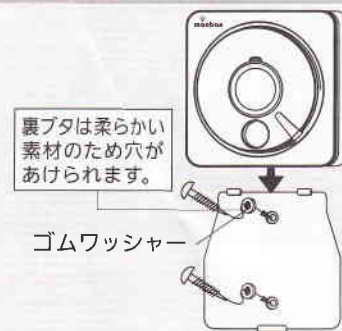
●図のように、壁コンセントに差込んでください。
※送信機からの電波を受信すると赤いLEDランプが点滅します。

手回し送信機

［壁に取り付ける場合］
●本体の背面の蓋を外し、両面テープを貼り壁につけます。●ゴムワッシャーとネジで壁に固定します。
●本体を裏ブタに取り付けます。
［置いて使用する場合］
●そのままで使えます。

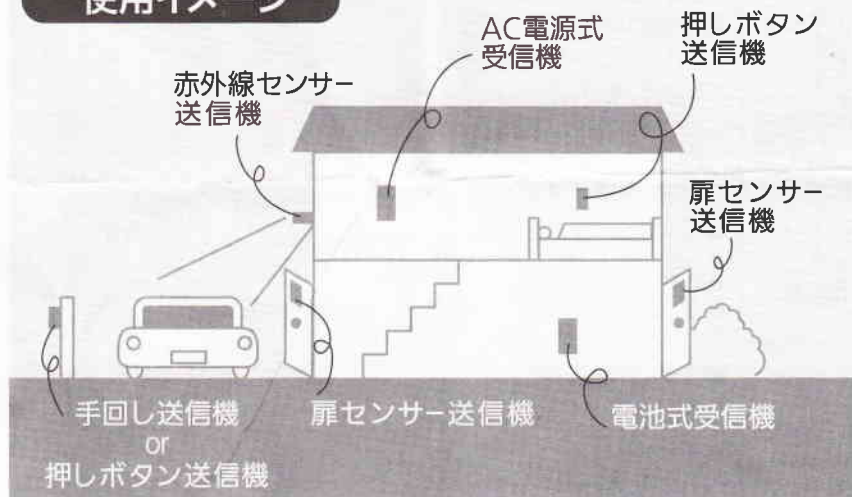
扉センサー送信機

※ドアを閉じた時にマグネット部と送信部本体の間隔が5mm以内になるように「∴」部を合わせ、設置位置を決めます。

●マグネット部の裏ブタをマイナスドライバー等でこじってはずします。
●送信部本体の側面の溝にマイナスドライバー等を差し込み、こじって本体をはずします。
●付属の両面テープまたは、ゴムワッシャーを挟んだネジで固定します。

●送信部本体の裏ブタの溝にネジ山を合わせてゴムワッシャーを挟んで止めてください。
●フタと本体を元のようにはめます。※マグネット部と送信部本体が離れた時にきちんとチャイム本体が鳴るかをご確認のうえ、設置・固定してください。

赤外線センサー送信機

●あらかじめ電池を入れておいてください。
●検知範囲は、水平方向が約110度、垂直方向が約20度です。中心が人の胸のあたりに向かうように、設定場所と角度を決め、仮止めします。（取付板と本体は垂直方向に180度回転します。）
●取付板の接続部を広げて本体をはずします。
●取付板をネジ2本で固定し、本体を付けます。
※本体は防滴構造ではありません。雨水のかからない所に設置してください。※センサー前を人が通った時に、きちんとチャイム本体が鳴るかをご確認のうえ、設置・固定してください。

6. 増設について

- ●増設した送信機・受信機は、ご使用の前に必ず送信機・受信機チャンネルの設定を現在使用中の送信機・受信機の設定に合わせてください。
  - ※送信機・受信機のチャンネル設定が合わなければ動作しません。
  - ※「2.送信機・受信機のチャンネルの設定」をご参照ください。
  - ※送信機の増設は8個まで可能です。
    (呼び出し音が8種類のため)
- ●増設した複数の送信機から同時に発信した場合、電波が混信して、受信機が動作しない場合があります。また、受信機側で呼び出し音が鳴り終わるまでは他の送信機からの電波は受信できません。
- ●増設した複数の受信機を至近距離(50cm以下)で並べて使用する場合は、電波が混信して受信機が動作しない場合があります。

使用上のご注意

●心臓用ペースメーカーを使用している方や、使用している方が近くにいる場合、さらには病院など医療関係の施設では本製品を使用しないでください。重大な事故の原因となります。

●下記のような使用場所では、本製品の電波到達距離が極端に短くなったり、動作しなくなる場合があります。
- ・送信機と受信機の間に金属製のドア・鉄筋コンクリート壁や天井がある
- ・壁や天井の断熱材でアルミ箔を貼り付けたグラスウールを使っている
- ・周りが金属製もしくは金属を使った家具や棚などで囲まれている
- ・人の体で電波を遮っている

●電波を利用した下記のような機器を近くでご使用の場合、本製品の使用に何らかの影響が出ることがあります。
- ・パソコンや電子レンジ
- ・コードレス電話や携帯電話
- ・低周波治療器、高周波治療器、マイクロ波治療器など

※テレビやラジオの放送局、各種無線局、携帯電話基地局、又は高圧送電線が近くにある場合も含みます。

●修理技術者以外の方の修理や分解・改造は行わないでください。

●本製品は事故や犯罪の防止機ではありません。強盗・盗難などの被害における責任は負いかねますので予めご了承ください。

●万一、当初の製造上の原因による品質不良が発生した場合は新しい製品とお取り替え致します。それ以外の責はご容赦ください。

●改良のため、予告無く仕様を変更する場合があります。

●パッケージの開封時に透明カバーや留め具の針などで手を傷つけないようにご注意ください。